

稍進ミツ、アルモ聯合分會役員ノ活動ナキ  
爲メ未ダ實現ニ至ラスト雖モ遠カラス編成ニ得  
ヘキモノト信シアリ。

甲、北部（國頭及大宜味東）

西海岸南部ノ外、交通路ト稱スヘキモノナク加  
フルニ海岸ノ局部ヲ除ク外山地ニシテ内部交通  
著シク不夜ナリ故ニ各部落又ハ學區毎ニ義勇  
隊ヲ編成セシメ大宜味村ニ於テハ一村ニ統一シ  
東及國頭兩村ニ於テハ地形ヲ顧慮シ概ネ一  
學區又ハニ學區ニ統一セシメントス

乙、中部（本部名護ヲ中心トスル地方）

東海岸久志村ヲ除ク外彼此交通網比較的  
發達シアリ且國頭ニ於ケル用兵上ノ重要地區

ナルニ鑑ミ久志村ニ於テハ部落毎ニ編成後村ニ  
統一シテ名護義勇隊ト密接ノ連絡ヲ保タシ  
メ其他ニ於テハ初ヨリ村毎ニ編成シ本部今歸  
仁名護、羽地四町村、聯合ヲ實現セシム

丙、南部（金武及恩納地方）

金武灣ノ重要性ニ鑑ミ村内ノ交通未ダ必スシモ  
便ナラサルモ速カニ一村毎ノ編成ヲ完了シ金武恩  
納即チ東西海岸相互援助ノ實ヲ擧ケシ  
ムル爲メ聯合セシム

ニ勝連半島方面及久高島

勝連半島及之ニ附屬スル諸島嶼ハ金武中城西  
灣ノ防備上ニ要點ニシテ殊ニ津堅島ハ本島最  
重要ノ中城灣口ニアリテ久高島ト共ニ其門

四、宮古郡

戸ヲ形成スル重要地矣ナリ、故ニ半島及石  
 島嶼毎ニ編成セシメテ遂ニ聯合強化スル  
 ニ到ラシム而シテ島嶼殊ニ津堅島ニハ當初ヨ  
 リ若干ノ兵器ヲ交付シテ之ヲ基礎トシテ速カニ  
 義勇隊ヲ完成セシム  
 久高島ハ津堅島ト同様極メテ重要ノ位置  
 ニアルヲ以テ當初ヨリ若干ノ兵器ヲ交付シテ  
 之ヲ中心トシテ速カニ義勇隊ヲ完成セシム  
 三、島尻中頭郡（上記ノ地方ヲ除ク）地方  
 各部落毎ニ自衛ノ團隊訓練ヲ實施セシ  
 ム之ヲ集成シテ遂ニ市町村毎ノ義勇隊ヲ  
 編成セシム

五、八重山郡

氣運僅カニ動キツ、アリ八重山其他新ニ  
 編成セル地方ニ兵器ヲ交付シテ刺戟ヲ與  
 へ八重山ニ準ヒ編成セシム  
 既ニ義勇隊ノ編成セラレアルハ既述ノ如シ  
 編成ト共ニ訓練用兵器ヲ購入シテ基礎ヲ  
 堅確ナラシムヘク資金募集中ナリシカ照和  
 八年ニ回ニ亘ル未曾有ノ大颱風ニ襲ハル根  
 底ヨリ産業ヲ殲滅セラレシカ爲メ既ニ集ルル  
 資金モ之ヲ救済ニ充ツルノ已クナキニ到リ  
 一大蹉跌ヲ生セリ出來得レハ速ニ若干ノ兵器  
 ヲ交付シテ復興ノ意氣ヲ盛ナラシメントス  
 同隊ニ於テモ挫折ノ意氣ヲ恢復スル爲メ

昭和九年二月十一日建國祭ニ聯合演習ヲ  
實施スル筈ナリ

六其他ノ離島

各島毎ニ在郷軍人青年訓練生徒ヲ主体  
トシテ自衛團隊ヲ組織セシム  
七中等學校生徒

機會アル毎ニ一旦緩急アル際直ニ郷土防  
御ノ中堅タルヘキ事ニ指導シアリ上級生ニ  
ハ自動火器ノ使用法ノ教育ヲ要求シアリ  
其四武装ノ整備

防備ノ危機カ事件發生ノ當初ニアリ海上交  
通ハ杜絶スルモノトシテ各準備ヲ整フルヲ要  
スルモ各地方ニ於ケル兵器ノ現在數及不足歟

ハ前説ノ如クナルヲ以テ平時ヨリ之ヲ所要島  
嶼ニ保持スルノ要アリ然レ共之カ使用ニ當リ  
テハ時ノ狀勢ニ從ヒ重矣ヲ形成スルノ要アル  
ト多數兵器ノ散布ハ之カ保全ニ困難ヲ來スヲ  
以テ其大部ハ之ヲ中等學校等ニ集團保管  
セシメ眞ニ必要ナル最少限ヲ隔地ニ交付スル  
如クセントス而シテ之カ爲メ必要ナル諸件ヲ  
左ニ列擧ス

一保管倉庫ノ現狀

甲國防兵器庫

昨年末陸軍ニ獻納セル鐵筋ベトン造ニシテ防  
濕ノ設備アリ司令部直前ニ在リテ監視便  
ナリ現在收容セル愛國兵器(重機五輕機十

小銃百五十及一切ノ附屬品ノ外小銃子五百挺不  
 便ヲ忍ヘハ約二十挺ヲ收容スルノ餘地アリ内  
 面ヲ「アスワルド」張トセル地下室ニハ小銃彈三  
 十萬發（二百命函）ヲ格納シ得ル設備ヲ有ス  
 乙中等學校兵器庫

皆完全ト云フヲ得サルモ盜難防止ノ設備アリ  
 概ネ左ノ收容力ヲ有ス（括弧内ハ現保管銃數）

- 師範學校 三〇〇（一五六）
- 第一中學校 三〇〇（一五二）
- 第二中學校 三〇〇（一〇三）
- 第三中學校 二〇〇（一六）
- 宮古中學校 二〇〇（一三）
- 農林學校 二〇〇（一五五）

計格納餘力  
 一三二五挺

工業學校 一〇〇（四〇）

商業學校 二〇〇（八一）

水産學校 一〇〇（五一）

右ノ外師範學校ニハ石造ノ堅固ナル彈藥庫アリ  
 小銃彈約十五萬發（百餘函）ヲ收容シ得

中城灣警備隊用兵器ノ平時格納

右ニ就テハ參謀本部課長ニ於テモ異存ナキカ

如シ國防兵器庫ニハ既ニ兵器所管ノ愛國兵

器ヲ格納シアリ大ナル余地ヲ有ス應急準備

用トシテ平時ヨリ格納スルニ可ナリト信シ上申

中ナリ速ニ實現ヲ希望シアリ

三 彈藥ノ平時格納

本島内ニ於テ平時使用スル小銃彈藥ハ中等

學校生徒教育用ト冲繩演習基幹隊（毎年夏季第六師團ヨリ派遣セラル）及演習召集ノ豫後備兵教育用ノ二種ニシテ其年度使用數量ハ概不左ノ如シ

中等學校生徒使用彈約 四四〇〇發  
演習召集者使用彈 約 一〇〇〇發

合計

一六四〇〇發

右ノ使用彈ヲ司令部保管彈ヨリ交付シ新彈ヲ補充スル如クセハ保管年限ニ應シ左ノ數量ヲ國防兵器庫ニ收容保管スルヲ得ヘク是非共之ヲ實現シテ有事ニ備ヘ度キ希望ヲ有シ上申中ナリ

更新年十年トシテ

一六四〇〇發

更新年五年トシテ

八二〇〇發

而シテ一旦國際關係險悪ナルニ至シハ最大收容可能數（國防兵器庫及師範學校彈藥庫）四五〇〇〇發ニ充ツル如ク輸送シ海上交付杜絶スルモ永ク戰鬥力ヲ保持シ得ル如クシタル

四 義勇隊用兵器ノ新設

前章既述ノ如ク郷軍及青訓兵器ハ皆無ナルヲ以テ一旦其必要ヲ認ムルモ全ク武裝ナクシテ戰鬥ニ從事スルノ外ナキ窮狀ニアリ小官ハ毎ニ小銃ナギモ棒（武技用六尺棒）ニ及物ヲ結着シテ手槍トシ突撃手セヨト欲示シツ、アルモ教育防備何レノ方面ヨリ具ルモ小銃ノ裝備ハ絶對ニ必要ニシテ其所要數ハ前條陳フルカ如ク最少限ニ千挺ニ



シテ拂下銃トシテ價格約三萬圓ニ達シ此巨額ノ金額ハ今直子ニ之ヲ公募スルヲ得サルヲ以テ本年先ツ五百挺ノ拂下ヲ懇請シアリ其金額トテモ當司令部保管ノ獻金ノミニテハ不足ナルヲ以テ一部ハ中等學校演習費ヨリ支出學校備付用トスヘク交渉濟ナリ

右ノ如クシテ購入セルモノハ義勇隊編成ノ將大勵トシテ交付シ本年<sup>新勢ヲ察ケシタル後其價額ヲ納付シ人如ク指導シ</sup>度内ニハ裝備ヲ完了シ外キ希望ヲ有スルモ前年ニ於ケル如ク拂下銃無キ際ハ遂ニ其實現不可能トナリ何時迄モ無防備ノ儘不安ノ中ニ彷徨セサルヘカラス切ニ兵器關係各位ノ同情處置ヲ仰キ<sup>懇請ス</sup>所以ナリ右兵器ハ一般郷軍青訓教育用ト異リ直子ニ

其五、交通産業ノ指導

一、本島ノ防衛ハ前章陳述セル如ク敵ノ上陸ヲ防禦ノ為地區隊備ヲ使用シ其力及ハサルモノハ總隊備隊ヲ以テ敵ノ確實ナル占據ニ先子之ヲ撃手之ヲ國防用ニ充當スルモノニテ以テ拂下ト稱スルモ半ハ陸軍ノ保管トシ年三回(徵兵検査青訓査閲及簡閲矣呼ノ際)嚴密ナル検査ヲ實施シ保存法不良ノ爲メ使用シ能ハサルニ至ルモノハ之ヲ辨償セシムル事トシ嚴ニ其精度ヲ確保セサルヘカラスルヲ以テ半ハ軍部ノ負担トシ一般拂下價額ノ半額トシテ下附サル、コトヲ切望ス斯ノ如クセハ其實現容易ニシテ西南ノ守備ハ一變手ニシテ成立シ得ルニ至ルヘシ

破スルヲ必要トスルヲ以テ其運動ハ極メテ迅速ナ  
 ルヲ要ス而シテ之ニ要スル自動車ハ年々増加シツ  
 、アル官用營業用ノ各種自動車ノ徵用ニヨリ得ヘ  
 キモ國頭南部西海岸ヲ除ク外路面ノ構築  
 極メテ不完全ニシテ降雨數日ニ亘レハ直チニ泥  
 濘車輛ヲ没スルニ至リ交通杜絶スルカ然ラサ  
 ルモ迅速ナル行動ハ得テ望ムカラス故ニ昭和八  
 年參謀本部ニ出頭ノ際用兵上ノ顧慮ニ基  
 キ東西兩海岸道路及之ヲ連絡スル主要横斷  
 道路ハ自動車<sup>往復</sup>ノ馳驅ヲ許ス如ク速ニ改築ス  
 ルコトヲ内務省ニ要求セラレシコトヲ上中ニ置キ  
 夕ルモ尚實現ニ至ラス縣省局ニモ私的ニ要  
 求セルコトアリ將來尚ホ機會日アルニ母ニ要求實

終リ (一) (井)

現セシメントス

ニ本縣ノ産業某時代ニ於ケル統治者指導ヲ誤  
 リ砂糖ニ偏セシ為メニ主要食糧品(農家ノ常  
 食ハ甘サ諸ニシテ概不自足ニ得)ヲ縣外ニ抑キ  
 ツ、アリ當局ニ於テモ其欠矣ニ着眼シ錢意之  
 カ改善指導ニ當リツ、アルモ目前ノ利益ニ眩  
 惑シ勤勞ヲ嫌フカ為メ作物ノ変更耕作法ノ  
 改良ニヨル增收等未タ充分行ハレシニテ主要食料  
 品ノ輸入實ニ巨額ニ達ス

各種米 約ニ七萬石  
 麥粉及麵類 約九四〇萬斤  
 茶 一七〇萬斤  
 以上ノ如クナルヲ以テ暴風等ノ為海上交通杜絶旬  
 昭和五年縣發表ノ統  
 計ニ依ル現在ハ僅ク  
 減シタル筈

日ニ直ニハ直チニ市場小賣相場ノ騰貴ヲ來ス情況ニアリ是本縣防備ノ重大ナル欠陥ナルヲ以テ農家己ムラ得サルモ一杜ニ於テ自給自足ノ途ヲ講スルニアラサルハ農家農林ハ立行クモノニアラサルコト併セテ本縣防御ノ為自給自足ノ必要ナル所以テ機會ヲ作リテ縣ノ産業係 中等學校 師範學校 青訓鄉軍林吏及其有志ニ伺ヒ普及徹底ヲ期ス之ヲ為ニハ軍ニ各檢查查閱等出張ノ機會ノミニ止マラス縣産業係ト共ニ特ニ此方面ニ關係アル者ヲ集メテ指導スルノ必要アリ上司ノ考慮ヲ切望ス

其六 指揮ノ統一  
 當管區ハ國防ノ第一線ニ位置シ有事ノ際直チ

敵ノ攻撃手ニ暴露スルノ公算極メテ大ナルニ拘ラズ強大ナル陸海軍ノ派遣ハ國軍作戰ノ大局ヨリ觀テ望ムヘカラス且現在ノ規定ニ於テハ戒嚴ヲ令シ聯隊區司令官ヲ戒嚴司令官トスルニアラサレハ警備ニ關シ何等ノ權限ナク有事ノ際防備施設及警備隊ノ編成等ニハ相當ノ時日ヲ要シ若干時日ハ全ク無防備無統制ノ狀態ニアルヲ以テ平時ヨリ民間施設ヲ改善シテ以テ指揮官ヲ握ニ便シ一方警備ニ關スル規定ノ改訂ヲ得テ以テ指揮ノ統一ヲ期セントス

一 國防研究會ヲ國防協會トシ同時ニ實際的 活動團體タル義勇隊ヲ編成シ之ヲ聯隊區司令官ノ指揮下ニ統一セントス



二 中等學校上級生徒ニ自動火器ノ使用法ヲ教  
育シ有事ノ際直ニ義勇隊ニ参加セシメント  
ス

右ノ兩事項ハ司令官タリ學校教練査閲官タ  
ル立場ヲ了解ヲ得テ之ヲ實現スルコト必  
スレモ困難ナラサルモ以下諸項ハ其筋ノ處置ヲ  
待ツニアラサルハ實現困難ナルモ平時ヨリ意ノ  
有ル所ヲ知悉シテ準備ヲ整ヘアルノ要アリ  
三 概ネ戒嚴令第十四條第一乃至第三ノ事項  
ヲ軍部ノ要求ニ應ジ警察官ヲシテ處置セシ  
ム

四 管内交通機關ノ掌握

五 上空及海上ヨリノ攻撃手ニ際シ住民ノ行動ヲ律

六 郵便電信電話及警察電話氣象無線ノ  
掌握

七 船舶ノ使用權獲得

八 縣立病院及醫師會ニ對スル命令權

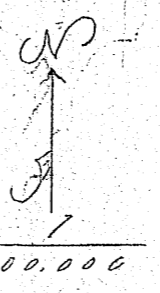
九 消防及燈火管制ニ關スル命令權獲得

要スルニ事変ニ際シテハ直ニ聯隊區司令官  
ヲ戒嚴司令官トシテ直ニ全縣下ニ戒嚴ヲ令  
スルヲ最モ必要トス

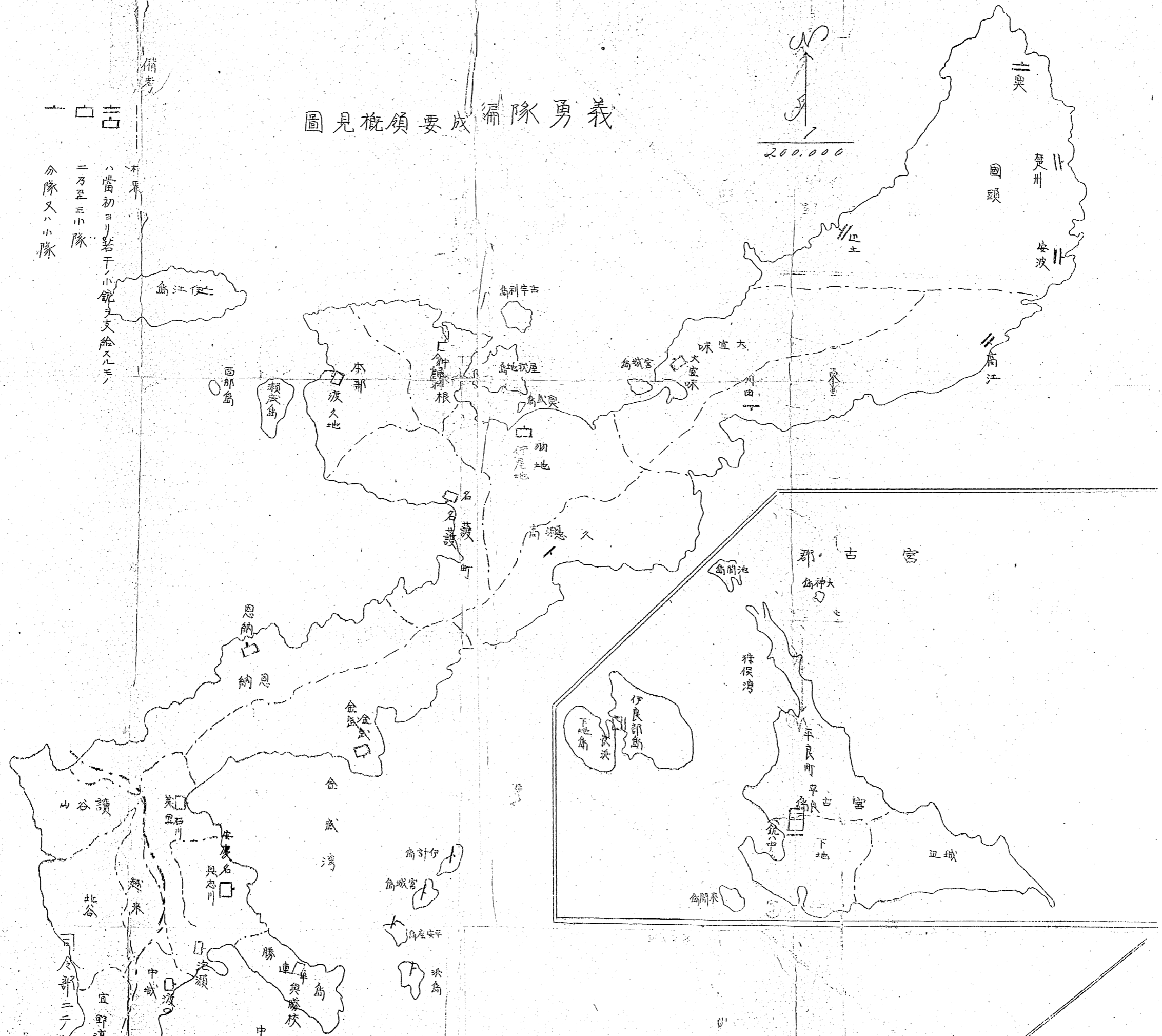
最後ニ言シタキハ從來戰時警備ニ關シ當管區  
ハ第六師團戰時警備ノ範圍外トシテ除外セ  
ラレ而カモ中央部ヨリハ何等直接ノ指示ニ接セス  
全ク暗中摸索、確信ナクシテ内々計畫ヲ進メア

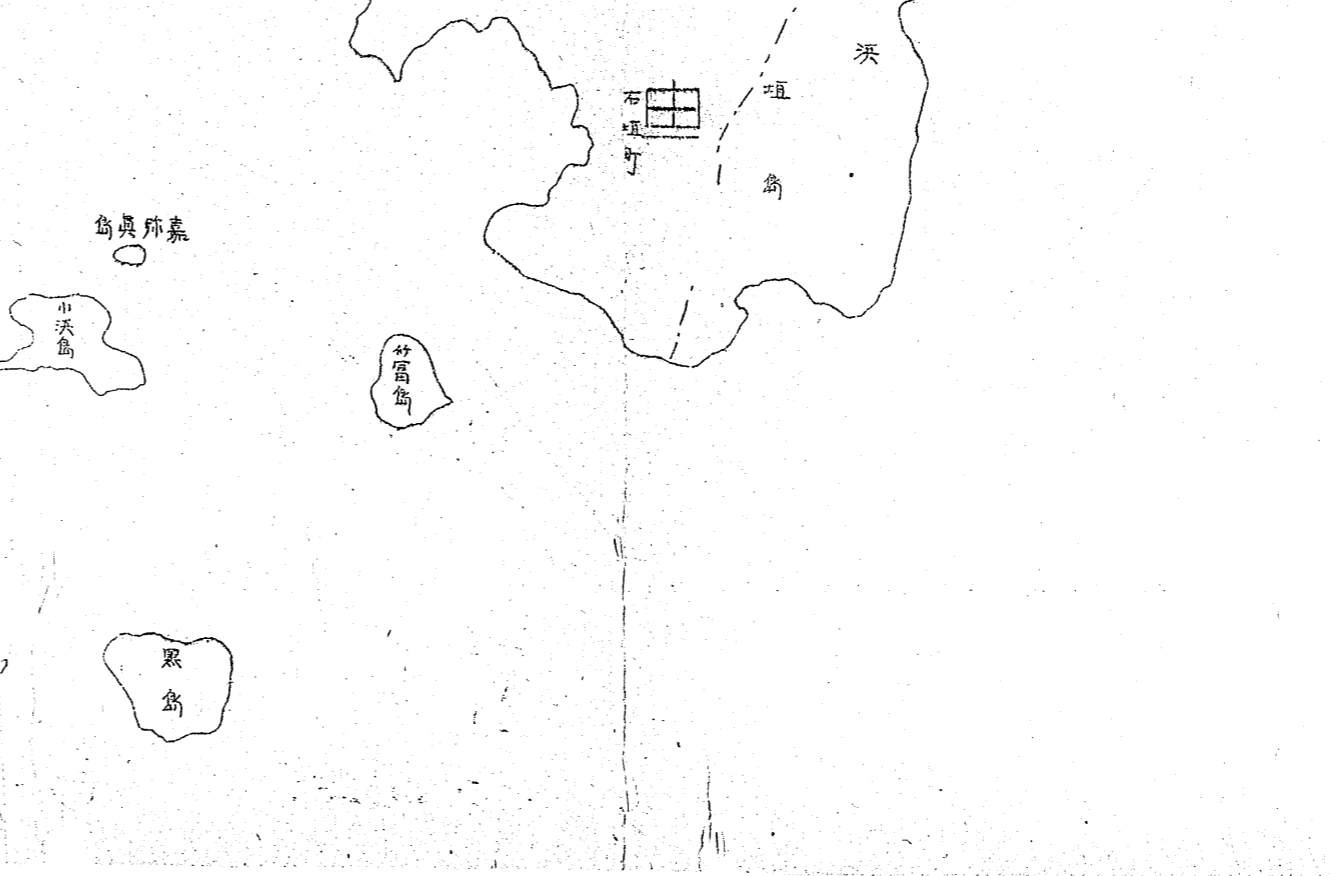
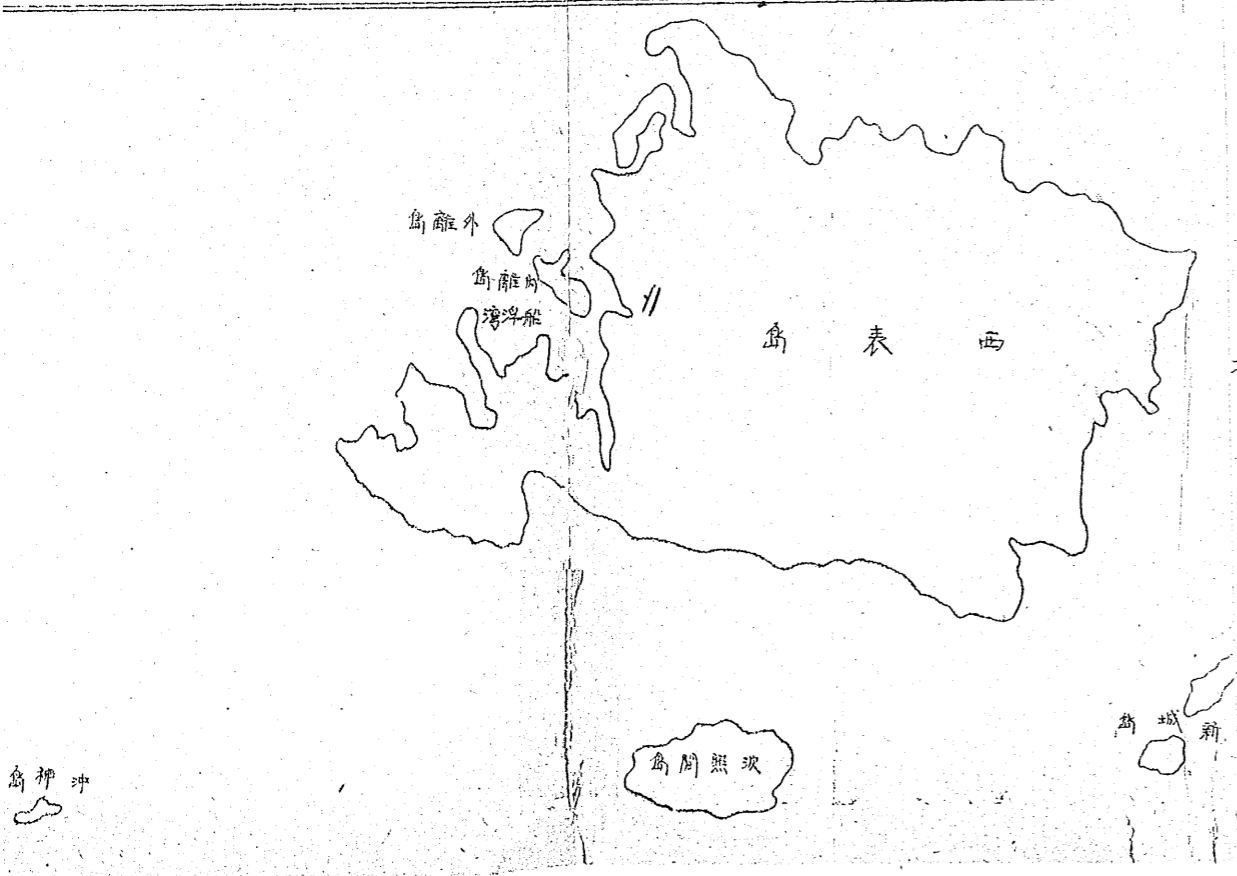
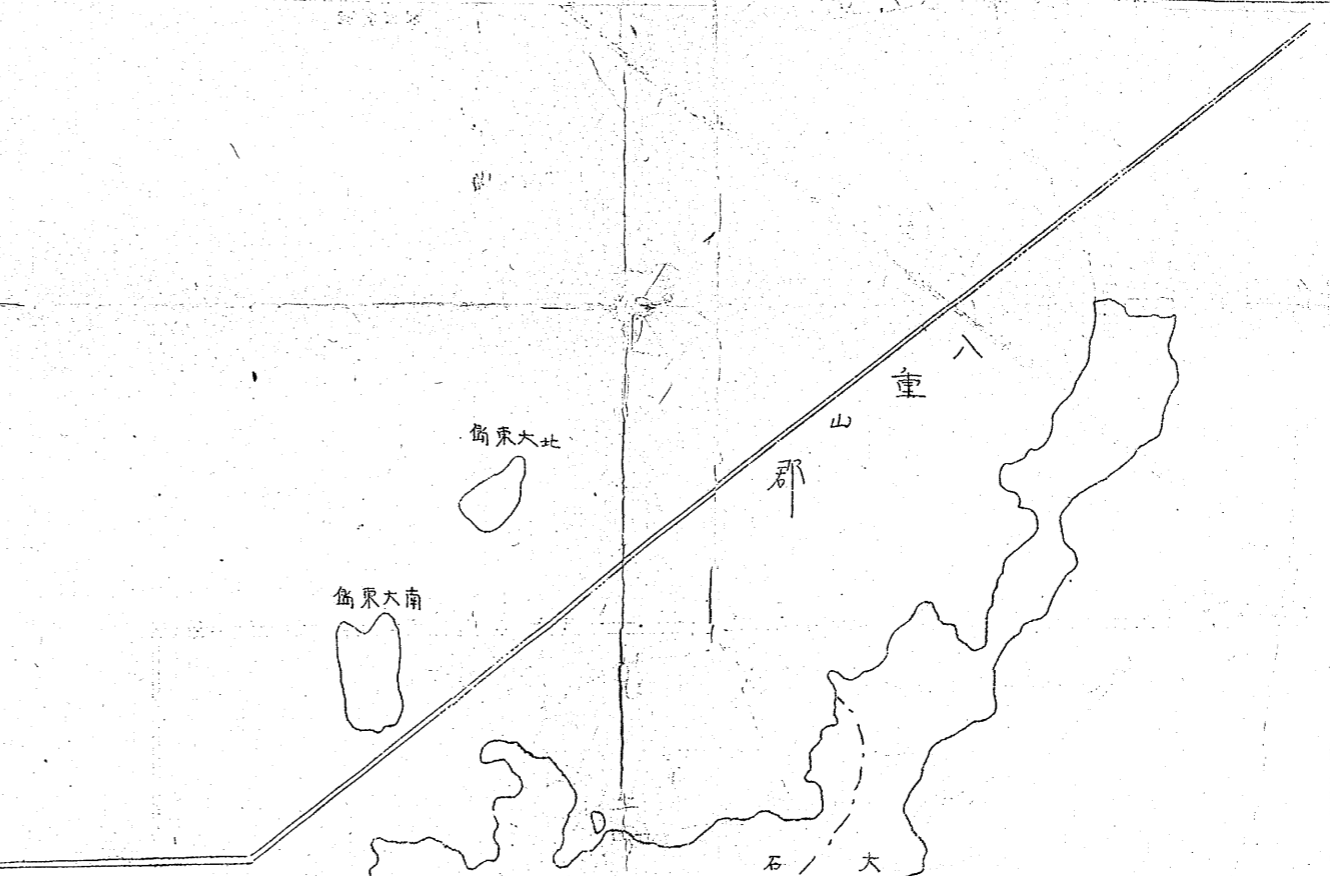
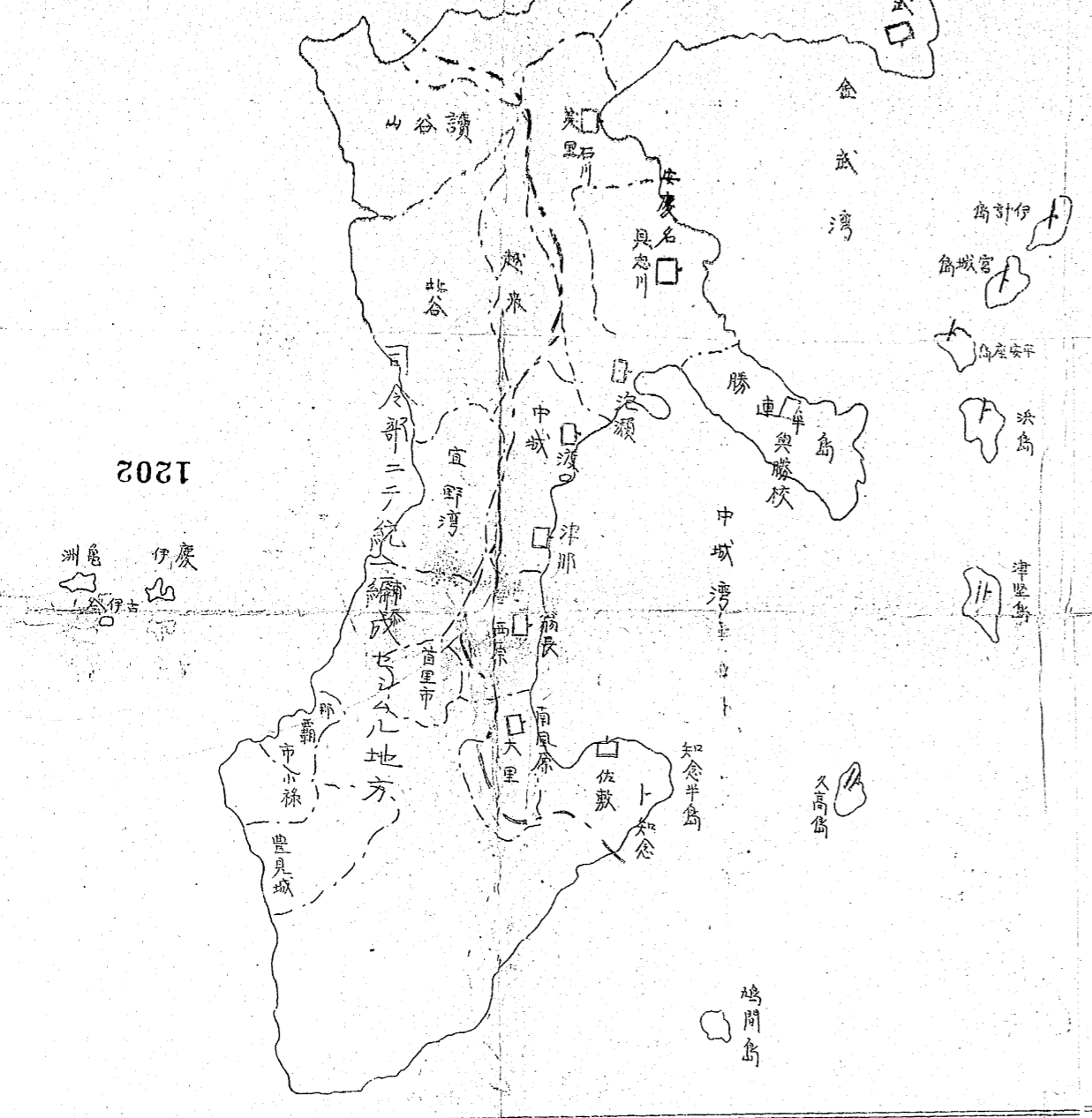
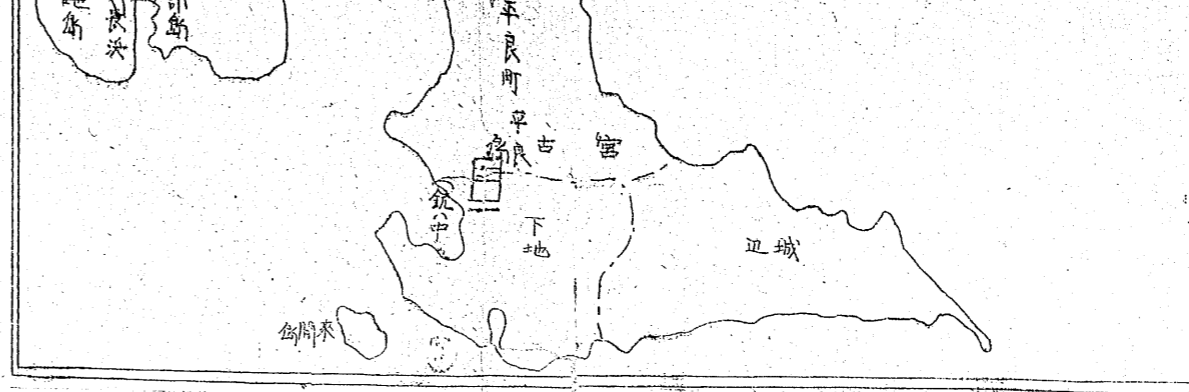
ハ状態ナリ爾後中央部ノ明確ナル指示ヲ受ケ確  
乎タル信念ノ下ニ自信アル計画ヲ策立シ得ル如ク  
指導ヲアランコトヲ希望ス

義勇隊編成要領概見圖



備考  
 一 古  
 二乃至三小隊  
 分隊又ハ小隊





1202

1201

附圖第一